

ふれあい

特集号
Vol.15



ふれあい

特集号
Vol.15

平成二十二年二月一日山梨県広聴広報課発行 千四〇〇一八五〇二 甲府市丸の内二丁目六の二

山梨に魅かれて
ここにいると、
生かされているんだと思う。
漫談家 綾小路 きみまるさん

先人たちが築きあげてきた
「山梨の農業」を未来につなぐ

山梨デスティネーションキャンペーン開幕

やまなしブランド
伝統の水晶から生まれた宝飾産業

やまなし歴史探訪「時を今につなぐあの日」



山梨県立博物館

Yamanashi
Prefectural
Museum

やまなしの施設紹介



ゆったりと時が流れる冬の一日は、
いにしえに思いをはせながらのんびりと。

豊かな自然にはぐくまれた山梨。その風土や歴史、そこに生きる人々や文化などを紹介している山梨県立博物館は、ゆったりと時が流れる冬の日を楽しむのにぴったりの場所。澄み切った空に向かって伸びる竹林や水の中でつややかに光る小石。石畳の先には、細身の柱や深く取られた庇などで繊細な表情を見せる博物館が佇んでいます。展示品はもちろんのこと、外観などあらゆるところにこだわりを持ち、皆さんをお迎えします。

庭も魅力のひとつ。約6万5000㎡という広大な敷地には4万本もの植物が植えられています。サクラやアジサイ、モミジなど四季折々の自然の美しさを楽しむことができ、ヤマナシの木や甲州八珍果など山梨にちなんだ植物も多くあります。

県立博物館には、20万点以上の収蔵品があり、常設展や企画展などで数多くの資料を展示していますが、まだまだ未公開資料もたくさんあります。1月2日から2月11日にかけての「収蔵品展」では、5つのテーマを設け、未公開資料を中心に約80点を展示。源頼朝が、甲斐源氏をはじめとする武士たちを従えて富士の裾野で行った狩りの場で、曾我兄弟が父の仇を討つ物語を描いた江戸前期の「曾我物語図屏風」など、まだ皆さんの目に触れたことのない貴重な資料の数々に出会える企画展です。

新しい年の始まり、県立博物館にお出かけください。



にぎやかな正月の姿もあちこちに

博物館の中には、多くの人でにぎわう江戸時代の柳町の正月の様子をとらえたジオラマや、正月には必ず店の軒先につるされたという初代 歌川広重が描いた幅10mにも及ぶ幕絵なども展示されています。どれも古き時代の正月のにぎやかな様子が伝わってくるものばかり。博物館を訪れた際は、ぜひ探してみてください。



information

>>開館時間
午前9:30~午後5:00
(入館は午後4:30まで)

>>休館日
1月1・7・15・21・28日
2月4・12・18・25日
3月3・10・17・24・25・31日
4月から毎週火曜日が休館日となります。



収蔵品展の魅力語る学芸員

Yamanashi Prefectural Museum
山梨県立博物館

〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1 Tel.055-261-2631 Fax.055-261-2632
http://www.museum.pref.yamanashi.jp/



県政だより「ふれあい」についてのご意見やご要望をお寄せください

広聴広報課 TEL:055-223-1339 FAX:055-223-1525

E-Mail:kouho@pref.yamanashi.lg.jp URL:http://www.pref.yamanashi.jp/